

「年金制度基礎調査（障害年金受給者実態調査）令和元年」正誤表

標記調査につきまして、次のとおり訂正いたしました。
現在掲載している概要及び統計表については、訂正後のものを再掲載しております。

○該当概要及び統計表

- I 調査の概要

- III 調査結果の概要 1. 就業の状況 (2) 仕事の内容及び従業時間

- III 調査結果の概要 5. 世帯の状況 (2) 世帯構成

- III 調査結果の概要 5. 世帯の状況 (3) 世帯収入

- 第21表 制度別・障害等級別・有業人員別・世帯人員別 受給者数／受給者割合

- 第25表 制度別・障害等級別・18歳未満の子の数別・年齢階級別・世帯の種類別 受給者数／受給者割合

○正誤比較

I 調査の概要

【正】

3. 調査時点及び調査期間

調査時点：2019（令和元）年12月1日

調査期間：2019（令和元）年12月16日～2020（令和2）年1月14日

【誤】

3. 調査時点及び調査期間

調査時点：2019（令和元）年12月1日

調査期間：2019（令和元）年12月1日～26日

Ⅲ 調査結果の概要 1. 就業の状況 （2）仕事の内容及び従業時間

【正】

障害等級別にみると、厚生年金の場合、厚生年金1級、2級、3級ともに「常勤の会社員・公務員等」（1級：30.8%、2級：29.7%、3級：45.7%）が最も多い。また、「常勤の会社員・公務員等」や「臨時・パート等」の割合は、障害の程度が軽くなるにつれておおむね増加するのに対し、「自営業主」の割合は低くなる傾向にある。

【誤】

障害等級別にみると、厚生年金の場合、厚生年金1級、2級、3級ともに「常勤の会社員・公務員等」（1級：38.0%、2級：30.8%、3級：45.7%）が最も多い。また、「常勤の会社員・公務員等」や「臨時・パート等」の割合は、障害の程度が軽くなるにつれておおむね増加するのに対し、「自営業主」の割合は低くなる傾向にある。

※ 「第Ⅲ－3表 制度・等級、性別仕事の内容別構成割合」及び統計表については修正なし

Ⅲ 調査結果の概要 5. 世帯の状況 (2) 世帯構成

【正】

世帯構成をみると、厚生年金・国民年金計では、「本人のみ」が最も多く(25.2%)、次に「親のみと同居」となっている(20.1%)。厚生年金計では、「本人のみ」が最も多く(22.7%)、次に「配偶者のみと同居」となっている(19.4%)。国民年金計では、「本人のみ」が最も多く(25.8%)、次に「親のみと同居」となっている(21.2%)。

【誤】

世帯構成をみると、厚生年金・国民年金計では、「本人のみ」が最も多く(25.2%)、次に「親のみと同居」となっている(20.1%)。厚生年金計では、「本人のみ」が最も多く(22.7%)、次に「配偶者のみと同居」となっている(17.5%)。国民年金計では、「本人のみ」が最も多く(25.8%)、次に「親のみと同居」となっている(21.2%)。

※ 「第Ⅲ-13表 制度・等級、世帯構成別構成割合」及び統計表については修正なし

Ⅲ 調査結果の概要 5. 世帯の状況 (3) 世帯収入

【正】

世帯収入額階級を障害等級別にみると、厚生年金1級では「200~300万円」(24.6%)が最も多くなっている一方、厚生年金2級では「100~150万円」(22.2%)が、厚生年金3級では「100万円未満」(17.4%)が最も多くなっている。また、国民年金1級、国民年金2級ともに「100万円未満」(1級:29.4%、2級:24.0%)が最も多くなっている。

【誤】

世帯収入額階級を障害等級別にみると、厚生年金1級では「200~300万円」(26.2%)が最も多くなっている一方、厚生年金2級では「100~150万円」(22.5%)が、厚生年金3級では「100万円未満」(21.8%)が最も多くなっている。また、国民年金1級、国民年金2級ともに「100万円未満」(1級:31.4%、2級:24.8%)が最も多くなっている。

※ 「第Ⅲ-14表 制度・等級、世帯収入額階級別構成割合」及び統計表については修正なし

第 21 表 制度別・障害等級別・有業人員別・世帯人員別 受給者数／受給者割合

【正】

表章記号「・」（中点）を使用。

※ 詳細な変更箇所については、別途「統計表正誤表.xlsx」を参照

【誤】

表章記号「-」（半角ハイフン）を使用。

※ 詳細な変更箇所については、別途「統計表正誤表.xlsx」を参照

第 25 表 制度別・障害等級別・18歳未満の子の数別・年齢階級別・世帯の種類別
受給者数／受給者割合

【正】

表章記号「・」（中点）を使用。

※ 詳細な変更箇所については、別途「統計表正誤表.xlsx」を参照

【誤】

表章記号「-」（半角ハイフン）を使用。

※ 詳細な変更箇所については、別途「統計表正誤表.xlsx」を参照